

学生がそれぞれの興味にしたがって、様々な学ぶことができる、そんな自由度の高いカリキュラムを目指しています。

卒業に必要な単位は124単位以上。

必修単位は卒業研究を履修するなら三年次終了時に卒業要件単位を100単位以上必要ですので、卒業にはあと24単位以上取得する必要があります。

余裕のある人は、いくつもの分野にまたがって学習を広げることも可能です。

(他大学の科目を履修することも可能ですが、とりあえず考慮に含めずに考えます。)

「環境に興味のある人」の履修方針例

必修科目でない専門科目に環境関係の科目がたくさんあるので、これらを履修する。

生命環境化学特別講義ⅠとⅡでは環境分野の著名な先生の講義を聞くことができるので、履修する。

環境関係の資格に関する科目も積極的に履修する。

基礎・教養科目の中から、現代社会と科学技術および工学倫理は環境にも深い関わりを持つと思うので履修する。

就職関係の授業は大切だから、これを履修する。

コンピュータ関係の授業ははずせないと思うので、履修する。

時間割がうまく合えば、建築学科に都市環境や住環境に関係した科目がある。学びの範囲をさらに広げることができる。

「生命に興味のある人」の履修方針例

必修科目でない専門科目に生命関係の科目がたくさんあるので、これらを履修する。

教職に関係した科目の中にある生物学実験を履修する。

生命環境化学特別講義ⅠとⅡでは生命分野の著名な先生の講義を聞くことができるので、履修する。

総合自由科目にも生物学A、生物学B、生理学A、生理学B、等、生命関係の授業があるので、これらを履修する。

就職関係の授業は大切だから、これを履修する。

コンピュータ関係の授業ははずせないと思うので、履修する。

「先端材料（応用化学）に興味のある人」の履修方針例

必修科目でない専門科目に先端材料関係の科目がたくさんあるので、これらを履修する。

高度な化学に関わる科目についても積極的に履修する。

生命環境化学特別講義ⅠとⅡでは、先端材料分野の著名な先生の講義を聞くことができるので、履修する。

化学関係の資格に関する科目も積極的に履修する。

就職関係の授業は大切だから、これを履修する。

コンピュータ関係の授業ははずせないと思うので、履修する。

「技術系以外の進路を考える人」の履修方針例

工学基礎科目の中に用意されている基礎的で比較的初心者向けの化学の科目を履修して、基礎的なところをゆっくりしっかりと学ぶことにする。

必修科目でない専門科目からは、なるべく基礎的で化学や理系の知識が少なくてすむ科目を選んで履修する。

生命環境化学特別講義ⅠとⅡでは、各分野の著名な先生の講義を聞くことができ、また、単位取得のための化学の知識は必ずしも多くないから履修する。

基礎・教養科目の中から興味に応じた科目を少し多めに履修して単位をかせぐことにする。

経済学A、経済学B、社会論A、社会論B、法学A、法学B、現代社会と科学技術、工学倫理、など、社会問題や環境問題との関係が比較的大きな科目を履修する。文章表現法などのプレゼンテーション関係の科目も履修する。

就職関係の授業は大切だから、これを履修する。

コンピュータ関係の授業ははずせないと思うので、履修する。